

景色通信 Vol.52

『岩肌に冴えるコネマラの白』

景色紀行として、アイルランドとコッツウォルズの湖水地方につきご紹介いたします。まずはアイルランドのレンスター地方ダブリンを起点にゴールウェイ州・クリフトゥンまでの横断の旅のようをお伝えします。

クリフトゥンは美しい自然に包まれた地で国立公園に囲まれ、夏でも人はまばらです。なんとまだ踏み固められてない未踏の地もあり、ふかふかの堆積岩を含む溶けた永久凍土にお目に掛かれます。湾岸線周辺に点在する家々には、岩ブロックの外壁の家や白壁が多く見られます。それぞれ窓枠に塗装を施して、赤やブルーの湾岸にすっきりと映え、どんよりとした空を背に景色を引き締めています。当地は小型馬のコネマラポニー種が有名ですが、その姿はやはり白く、荒涼とした岩肌や草原に絵のようにマッチし、寒さを忘れる美しさです。町はといえば、カラフルな壁面が印象的で親しみやすく、丘を上がると、スパイスガールズやクリントン元大統領も宿泊した古城ホテルに辿り着きます。

今回は綿々と今日まで受け継がれる、この古城ホテルの装飾についてと、各地から来る宿泊客の滞在の様子などをお伝えします。(網村眞弓)



白壁と窓枠色が景色を引き締めるクリフトゥン・スカイロードの家。



青い空と湖水に緑が映えるスカイロードの風景



色鮮やかな外壁の家が連なるクリフトウンの町並み



永久凍土は北半球の大陸の約 20%に広がっている。